

令和6年度 第1回 落合第四小学校地域協働学校運営協議会 議事録

開催日時・場所

令和6年 4月23日(火)15:30～ 落合第四小学校 会議室

出席者(敬称略)

二上委員(代表)、浅見委員、鈴木委員、山下委員(事務担当)、立石委員、江崎委員、(ワーカーズコープ木村委員代理2名)

中里校長、渡辺副校長(司会)、小田主幹教諭、梅澤主幹教諭、教育委員会教育支援課 明石、遠藤、野原

配布資料

- ・ 令和6年度 学校経営方針の概要
- ・ 地域協働学校運営協議会委員発令通知書
- ・ 令和6年度学校行事予定
- ・ しんじゅくの教育 Vol.142
- ・ 区小P連広報誌「かけはし」特別号
- ・ 子ども安全パトロールについて
- ・ 校庭開放のお知らせ
- ・ 落四幼稚園「ありんこクラブ」のご案内
- ・ 小中連携型地域協働学校 紹介リーフレット
- ・ 令和6年度第2回地域協働学校運営協議会開催について
- ・ 運営協議会レジュメ

議 事

1) 代表挨拶

皆様こんにちは。今年度第一回目の運営協議会ですね。今年もよろしくお願いいたします。

新しい副校長先生をお迎えして大変うれしく思っております。また今年度もこの地域協働学校運営協議会のみなんで力を合わせて考えて、落四小を見守っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2) 校長挨拶

皆様こんにちは。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度を振り返ってみますと、まだコロナが2類で、5類になったのが5月の連休明け頃だったように記憶しています。今年度は、そのコロナ禍も完全に明けた状態でのスタートということで、地域行事などもどんどん復活してきております。子どもたちがどんどん地域に出て、地域の方とかかわっていく、様々な体験活動を行っていくこととなります。今年度もよろしくお願いいたします。

3) 委員自己紹介(略)

4) 学校経営方針について

- ・昨年度の4つの教育目標の中で特に重点とするもの「自ら学ぶ 確かな知識」を重点として進めていく
- ・目指す学校像は「すべての子どもたちの可能性を引き出す学校」総勢435名、15学級のいろいろな個性を持った子供たちがともに学んでいく
- ・「主体的、対話的で深い学び」「地域の教育力を活かすとともに豊かな心をはぐくむ」「教職員が学習指導の専門家としての力量を発揮し、個と集団をともに高める」を重点としていく
- ・校内研究「教科横断的な視点での学びを他教科で生かしていこう」⇒振り返り活動と評価の充実に加え教科横断的な視点でという形でさらに進めていく
- ・5、6学年を中心にした教科担任制の推進。昨年度は5、6年生ミックスでの教科担任制だったが本年度は学年完結型とする
- ・ICTの活用について、タブレット端末での学習は学年の発達段階に応じながら効果的に使用する
- ・生活指導については「落四スタンダード」「おちよん三つのあたりまえ」を中心として学校全体で生活規律を確立し、落ち着いた学習環境を作っていく
- ・「学校いじめ防止基本方針」を基にいじめの根絶を図る
- ・地域協働学校の学習支援活動をはじめとするいろいろな人々との触れ合いを通じ地域の一員としての自覚と行動力を育てる
- ・幼少連携のさらなる充実
- ・創意工夫のある活動(地域でつながる落四小) 恵まれた環境を教育活動に積極的に活用していく

5) PTAより

- ・校庭開放事業について
- ・子ども安全パトロールについて

6) 意見交換

- ・落四幼稚園、今年度は年少組の編成ができなかった。未就園児の会「ありんこクラブ」を火～金曜毎日開催している。ぜひポスターを張るなどご協力いただければと思う
- ・PTAの子ども安全パトロールの活動状況はどのようなものか。以前より活動に参加しやすいようアップデートされているのを感じた。地域の人間としても何かできるといいのだが
- ・5/19 おとめ山公園で緑祭りが開催される。子どもたちがおとめ山について調べたことを掲示したい
- ・通学路の状況について。私道を通行している児童がいる。ピーポ 110 番のいえの状況、きちんと更新がされていない(更新が4年に1回。状況が変化し不適格な家も指定されたまま等)
- ・学童クラブについて、今年度から新規の事業に切り替わったが、「ものが紛失する」「下校させる時間を間違える」などが発生しているとのこと、人員の不足などがあるのではないかと児童数が大幅に増えて定員オーバーしているが面積の確保はできているのか？いつまですし詰め状態が続くのか。
- ・配布物(小P連広報リーフレット)の説明

7) 事務連絡

* 次回 第2回 落四小地域協働学校運営協議会は
5月16日(木) 午後3時30分から 本校会議室にて開催予定

以上